

共用設備配管の集約・外部化の取り組み (ルネッサンス計画1 共通テーマ)

検証位置 外部共用設備配管

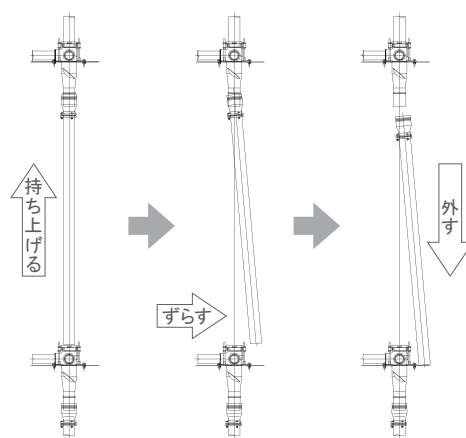
検証の目的 中層階段室型住棟の住棟単位での改修にあたって、多様化するニーズに相応しい間取り、内装・設備への転換に対応するため、KSI(機構型スケルトンインフィル)やKPU(機構型パイプユニット)の基本的概念を踏まえ、北面外部に設備コアを新設・集約しました。また、外部露出配管などの景観への配慮や、将来の設備配管の更新性・可変性・耐久性等について、ひばりが丘団地・向ヶ丘第一団地等ルネッサンス計画1の共通的なテーマとして検証に取り組んでいます。

基本概念図



- 検証概要
- ① 耐久性(長寿命化対応技術)
 - ② 更新性(メンテナンス対応技術)
 - ③ 可変性(ライフスタイル対応住宅)

※住宅性能表示(更新等級3の可否)、工期、施工性、インフィルとの関連性、ユニット化等について検証



更新性検証手順

参考: 機構型パイプユニット(KPU)

建物の躯体から共用配管設備を分離し、排水、給水、ガスなどの設備配管や機器類をユニット化し工場加工した配管ユニット。

機構職員住宅において、試行導入を行いました。

